

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL <http://j-fla.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)檜垣 周作  
 問合せ先責任者 (役職名)法務総務部長 (氏名)尾崎 富彦 (TEL)03(6311)8892  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	37,550	12.6	△582	—	△568	—	△147	—
2022年3月期第2四半期	33,336	△1.1	△705	—	△719	—	△281	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △237百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △603百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△3.21	—
2022年3月期第2四半期	△6.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,554	7,782	13.7
2022年3月期	48,452	8,282	14.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,525百万円 2022年3月期 6,971百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の業績予想は、経営改善計画の進捗状況を踏まえ、合理的な業績予想が可能なり次第、速やかにその開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	46,077,136株	2022年3月期	46,062,136株
2023年3月期2Q	36,515株	2022年3月期	34,831株
2023年3月期2Q	46,026,972株	2022年3月期2Q	41,898,032株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結通期業績予想につきましては、現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。  
今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、経済活動に持ち直しの動きが見られ始めたものの、7月以降変異株による感染者急増により人の流れや個人消費に落ち込みが見られ、影響の収束時期の目途が立たない状況が続いております。原材料価格やエネルギー価格の高騰及びウクライナ情勢の緊迫化、円安の進行等も生じており、依然として先行き不透明で厳しい経営環境が続いております。

当社グループの属する飲食業界につきましては、ワクチン接種等の対策が進むものの、新たな変異株の出現などによるコロナ禍の影響を受けやすい業界であり、依然として厳しい業況が続いております。流通業界につきましては、資源価格の高騰やインフレ率の上昇、ウクライナ情勢の緊迫、欧米における金利上昇、円安等の影響を大きく受けており、食料品・酒類を製造する業界におきましても、原材料価格の上昇により販売価格の値上げをしているものの、回復には至っておらず、依然として厳しい業況が続いております。

当社グループは、このような状況の中で、当期から始まる3か年の中期経営計画「NEXT JFLA 2025」に基づき「新たな価値を創造し、提供するグローバル食品・飲料メーカーへ」をグループテーマに掲げ、2025年3月期には売上高88,000百万円、営業利益2,000百万円を目標とし取り組んでおります。また、中期経営計画初年度の当期におきましては、前期業績が社会情勢の影響を大きく受けたことにより当該中期計画と並行して、2022年5月13日に公表いたしました経営改善計画に基づき収益改善に努めてきました。具体的には販売事業部門では不採算継続事業の撤退・売却、生産事業部門では穀物価格やエネルギーの価格変動リスクを吸収する値上げ等の対策、流通事業部門では円安の影響を改善するための売価調整、そして本社部門では固定費削減等に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37,550百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業損失は582百万円（前年同四半期は営業損失705百万円）、経常損失は568百万円（前年同四半期は経常損失719百万円）となり収益改善が進みました。親会社株主に帰属する四半期純損失は投資有価証券売却益295百万円及び助成金収入137百万円の計上があった一方で、新型コロナウイルス感染症を主要因とした特別損失（休業要請に伴い発生した休業中の店舗の賃借料及び人件費等）46百万円や投資有価証券売却損102百万円の計上などにより147百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失281百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①生産

生産事業におきましては、各社とも原材料価格やエネルギー価格の高騰によりコストが前年より大幅に増加しました。このような状況の中、株式会社弘乳舎は、生乳の需給緩和を背景とした業務用バターや脱脂濃縮乳などの乳加工品の受託収入が引き続き順調に推移したものの減益となりました。九州乳業株式会社、茨城乳業株式会社においても、売上高は堅調に推移したものの減益となりました。盛田株式会社においては、醤油の価格改定、業務用商品の改善、メディアにおいて紹介されました「麻布十番三幸園 焼肉のたれ」が好調に推移するなど、増収増益となりました。以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は21,356百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は222百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

#### ②流通

株式会社アルカンは、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、既存顧客深耕や新規顧客開拓が順調に進み、ホテル・レストラン向けの業務用食材及びワインの売上が好調に推移したことにより増収増益となりました。当第2四半期連結累計期間における売上高は9,639百万円（前年同四半期比28.2%増）、営業利益は50百万円（前年同四半期は営業損失262百万円）となりました。

#### ③販売

販売事業につきましては、株式会社アスラポートの事業の一部を譲渡しましたが、新型コロナウイルス感染症による変異株の影響により各社厳しい経営状態が続いております。当第2四半期連結累計期間における売上高は6,420百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業損失は238百万円（前年同四半期は営業損失157百万円）となりました。

④その他

ウェルエイジング事業や店舗開発事業により、当第2四半期連結累計期間における売上高は133百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業損失は28百万円（前年同四半期は営業損失40百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ897百万円減少の47,554百万円となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ397百万円減少の39,772百万円となりました。純資産合計は前連結会計年度末と比べ500百万円減少の7,782百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失147百万円の計上、剰余金の配当184百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は13.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、経営改善計画に基づき、収益構造改革を進めているため、現時点では業績予想の開示は行っておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,869,433	3,679,246
受取手形及び売掛金	8,843,699	8,757,879
商品及び製品	4,496,582	5,246,359
仕掛品	2,490,257	2,640,661
原材料及び貯蔵品	1,375,654	1,467,898
その他	1,175,928	1,138,970
貸倒引当金	△22,309	△8,262
流動資産合計	23,229,246	22,922,755
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,485,166	9,415,992
その他(純額)	8,155,560	7,856,090
有形固定資産合計	17,640,726	17,272,082
無形固定資産		
のれん	2,916,681	2,722,610
その他	334,758	278,971
無形固定資産合計	3,251,439	3,001,582
投資その他の資産		
その他	4,557,380	4,468,061
貸倒引当金	△231,159	△111,101
投資その他の資産合計	4,326,220	4,356,959
固定資産合計	25,218,386	24,630,624
繰延資産	4,565	854
資産合計	48,452,198	47,554,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,428,548	6,595,838
短期借入金	11,629,781	11,856,979
1年内償還予定の社債	146,200	218,200
1年内返済予定の長期借入金	2,841,147	2,463,361
未払法人税等	249,356	222,720
賞与引当金	79,185	60,613
店舗閉鎖損失引当金	81,299	59,682
その他	5,114,619	5,034,827
流動負債合計	26,570,139	26,512,223
固定負債		
社債	153,600	134,500
長期借入金	8,660,351	8,871,328
債務保証損失引当金	64,465	64,465
退職給付に係る負債	912,258	921,435
資産除去債務	1,025,216	924,879
その他	2,783,411	2,343,388
固定負債合計	13,599,302	13,259,996
負債合計	40,169,442	39,772,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,513,801	3,516,264
資本剰余金	8,525,795	8,316,808
利益剰余金	△4,524,298	△4,715,076
自己株式	△14,308	△14,864
株主資本合計	7,500,989	7,103,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84,342	△122,675
為替換算調整勘定	△347,051	△362,398
退職給付に係る調整累計額	△97,777	△92,116
その他の包括利益累計額合計	△529,170	△577,190
新株予約権	21,201	21,134
非支配株主持分	1,289,735	1,234,936
純資産合計	8,282,755	7,782,013
負債純資産合計	48,452,198	47,554,233

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	33,336,175	37,550,497
売上原価	24,118,521	27,426,944
売上総利益	9,217,653	10,123,553
販売費及び一般管理費	9,922,674	10,705,987
営業損失(△)	△705,021	△582,434
営業外収益		
受取利息	15,054	5,846
受取配当金	2,985	3,278
為替差益	242,648	247,520
その他	145,299	91,838
営業外収益合計	405,988	348,484
営業外費用		
支払利息	200,972	190,778
持分法による投資損失	2,777	3,710
その他	217,042	140,396
営業外費用合計	420,791	334,884
経常損失(△)	△719,823	△568,835
特別利益		
固定資産売却益	75,604	26,314
投資有価証券売却益	519,494	295,417
助成金収入	556,691	137,536
債務免除益	199,877	166,077
その他	35,812	29,412
特別利益合計	1,387,480	654,759
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	469	3,347
減損損失	247,737	28,898
投資有価証券売却損	—	102,438
新型コロナウイルス感染症による損失	410,974	46,827
その他	169,006	40,352
特別損失合計	828,188	221,864
税金等調整前四半期純損失(△)	△160,531	△135,939
法人税、住民税及び事業税	196,434	170,736
法人税等調整額	△12,720	△119,498
法人税等合計	183,714	51,237
四半期純損失(△)	△344,245	△187,177
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,871	△39,376
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△281,374	△147,801

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△344,245	△187,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114,684	△38,631
為替換算調整勘定	△123,801	△14,310
退職給付に係る調整額	△20,741	2,547
その他の包括利益合計	△259,227	△50,394
四半期包括利益	△603,473	△237,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△536,127	△195,821
非支配株主に係る四半期包括利益	△67,345	△41,750

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。